

ポスト「京」萌芽的課題・計算惑星 第4回 公開シンポジウム

日時: 2020年3月9日(月)10時00分 ~ 18時30分

会場: TV会議およびZoomによるリモート開催

プログラム:

10:00-10:10 開催挨拶 牧野 淳一郎(神戸大学)

10:10-11:00 萌芽サブ課題D「原始太陽系における物質進化と生命起源の探究」

梅村 雅之^{*}(筑波大学) 星間円偏光波の生成と生体アミノ酸キラリティー問題
石原 卓^{*}(岡山大学) 原始惑星系円盤乱流中のダスト成長

11:00-12:15 萌芽サブ課題B「惑星内部・表層のダイナミクスと進化」

小河 正基^{*}(東京大学) マントル対流の数値モデリング:月・火星・プレートテクトニクスを例として
櫻村 博基(神戸大学) 火星大気の高解像度シミュレーションに向けたモデル開発
竹広 真一^{*}(京都大学) スペクトル変換ライブラリと回転球殻非弾性対流モデルの開発
~高解像度ガス惑星大気シミュレーションに向けて

【昼食(75分)】

13:30-14:20 富岳サブ課題A「大規模数値計算と大型観測データのシナジーによる宇宙の進化史の解明」

藤井 通子^{*}(東京大学) 富岳へ向けて:大規模構造形成から星団まで
斎藤 貴之(神戸大学) 恒星スケールを直接分解する“次世代”銀河形成シミュレーション

14:20-15:35 富岳サブ課題C「ブラックホールと超新星爆発における高エネルギー天体现象の解明」

大須賀 健^{*}(筑波大学) 富岳で狙うBH周辺構造とジェット形成
岩上 わかな^{*}(早稲田大学) 重力崩壊型超新星の数値シミュレーションの現状と将来展望
松本 洋介^{*}(千葉大学) 動的ロードバランサーを導入したparticle-in-cellコードの開発

【休憩(20分)】

15:55-17:10 萌芽サブ課題A「惑星の起源の解明」

高棹 真介^{*}(国立天文台) 原始惑星系円盤内側領域の大域的非理想磁気流体シミュレーション
石城 陽太^{*}(東京大学) P3T法を用いた惑星系形成N体計算コードGPLUMの開発
中嶋 彩乃^{*}(東京工業大学) 高解像度N体シミュレーションを用いた周土星デブリ円盤との相互作用による衛星軌道進化

17:10-18:00 萌芽サブ課題C「太陽活動による地球環境変動の解明」

堀田 英之^{*}(千葉大学) R2D2を用いた黒点形成計算
金子 岳史^{*}(名古屋大学) 太陽黒点形成からフレアまでの統一シミュレーションの展望

18:00-18:30 総合討論

1 講演あたり質疑応答込み 25分(講演は日本語で行われます)。

^{*}印はリモート参加。